

大阪府指定がん診療拠点病院

耳原総合病院 手術の実力

耳原総合病院は、2017年に大阪府より指定を受けたがん診療拠点病院です。2018年度は、918件のがん相談を承りました。主な手術実績は以下の通りです。(診療科のない脳外科関連以外の手術はそのほとんどを行うことができます)



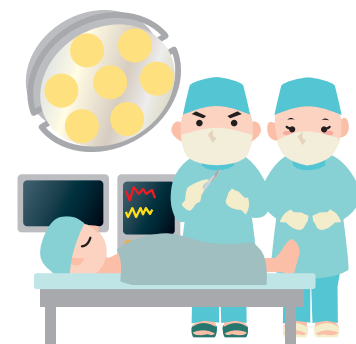
| | |
|--------------|--------|
| 全身麻酔による手術件数 | 1,295件 |
| 診療科別手術件数 | |
| 外科 | 734件 |
| 整形外科 | 483件 |
| 泌尿器科 | 455件 |
| 呼吸器外科 | 28件 |
| 歯科口腔外科 | 23件 |
| 緊急手術件数 | 300件 |
| がんに対する手術件数 | 359件 |
| 内視鏡的消化管止血術件数 | 97件 |
| 経皮的冠動脈形成術件数 | 423件 |

耳原総合病院ではこんな手術ができます！

| | |
|---------------------|--|
| 内視鏡による、“おなかを切らない”手術 | 胃がん（ポリープを含む）や大腸がんの切除 尿管結石や腎結石を砕いて取り出す手術 |
| カテーテルによる、“胸を切らない”手術 | 不整脈カテーテル治療 動脈硬化カテーテル治療 |
| 胸の手術 | 最新鋭のペースメーカーも挿入可能 弁膜症などの心臓血管手術 ペースメーカーの挿入 肺がんなどの呼吸器手術 |
| お腹の手術 | 胃・大腸・肝臓・胆のうなどの消化管手術 痔など肛門の手術 腎臓・膀胱・前立腺などの泌尿器手術 |
| 女性の手術・処置 | 婦人科救急にも対応しています 子宮・乳腺の手術 無痛分娩 |
| その他の手術 | 骨折や人工関節などの整形外科手術 (難しい) 親知らずの抜歯など口腔外科手術 下肢静脈瘤などの血管手術 白内障手術 イボ切除などの体表の手術 |

耳原総合病院では、個室に入院される場合であっても、室料差額は一切いただきません。また、医療費のお支払いが困難な方については、無料低額診療制度の適用も可能です。

「もしかして?」「これがそうかも?」と思うことがあればお早めの受診をおすすめします。



● がん治療をはじめ、手術や処置が必要な病気は、早期であればあるほど治療による負担が少なく、その後の生活への影響も小さく済みます。

● 民医連の医療機関として、安全・安心はもちろんのこと、費用の心配なく安心して治療を受けていただけるよう支援しています。

理事会報告

7月度理事会(概要)

開催日時 7月25日(木)
午後6時
出席 理事20名、監事2名

〈主な内容〉

- ◆ 報告
 - ・ 拡大常任理事会及び各種委員会概要報告
 - ・ 健康友の会みはら代表世話人会議、社保・平和・まちづくりのとりくみ
 - ・ 無料低額診療の各事業所実績
- ◆ 協議・確認事項
 - ・ 改正健康増進法に伴う、同仁

会対応について提案
・ 役員改選にあたり、役員・評議員選考委員会の設置および臨時評議員会開催についての提案

・ 新勤務体制に伴う就業規則の改定、耳原高石診療所の無料低額診療制度開始に伴う無料低額診療規程の改定を提案
職員への公園での喫煙について指摘があり、同仁会として通達事項を遵守し取りくむことを確認、また6月度は無料低額診療の新規承認数が19件と大きく伸びたことを確認し、提案事項について出席理事全員が承認した。

シリーズ 現場からの視点

その50

同仁会ケアプランセンターでは、昨年より泉州看護専門学校の実習受け入れを開始しました。在宅でのケアが増加する現在、医療と介護の連携はますます重要になります。ケアプランセンターでの実習目標は

- 介護保険制度や社会資源の活用方法、他職種との連携を学ぶ
- 居宅介護支援事業所の機能とケアマネジャーの役割を学ぶ
- 生活と労働の視点において対象を歴史的に捉えることの重要性を学ぶ

実習期間は2日間です。オリエンテーションで介護保険や社会資源の理解を深めた後、実際にケアマネジャーに同行し、利用者さん

病気の経緯や生活背景を知る大切さを学ぶ場に 看護学生のケアプランセンター実習受け入れ

在宅へのモニタリング訪問、サービスマン担当者会議や認定調査に同席してもらいます。

利用者さんには事前に実習の協力に同意を得ていますが、看護学生が来ることを楽しみにしてくれて、「いい看護師さんになってくださいね、また頼みますね」と声をかけてくださり学生の励みにもなっているといます。

実習後、多くの看護学生が「ケアマネジャーは、利用者さんだけのプランニングをしているのではなく、家族関係や社会背景も常に視野に入れ対応していることが分かった」「看護師として患者さんの病気に向き合っただけではなく、患者さんが今に至った経緯をしっかりと知ることが、治療にも欠かせないことだと分かった」と感想文に書いています。

看護学生の在宅医療・介護を学ぶ機会、これからも欠かせないものだと感じます。

(介護事業部 鳳在宅介護支援センター)

甘田 尚子

